



## 平成25年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月15日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 メディア工房  
 コード番号 3815 URL <http://www.mkb.ne.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役  
 四半期報告書提出予定日 平成25年1月15日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 長沢 一男  
 (氏名) 黒川 真

TEL 03-5549-1804

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年8月期第1四半期の連結業績(平成24年9月1日～平成24年11月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年8月期第1四半期	617	△3.2	168	38.7	168	38.0	105	76.1
24年8月期第1四半期	637	6.6	121	△26.0	121	△25.1	60	△36.4

(注) 包括利益 25年8月期第1四半期 105百万円 (76.1%) 24年8月期第1四半期 60百万円 (△36.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年8月期第1四半期	2,079.28	2,009.64
24年8月期第1四半期	1,191.63	1,133.16

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年8月期第1四半期	2,677	1,525	56.3
24年8月期	2,805	1,533	54.0

(参考) 自己資本 25年8月期第1四半期 1,506百万円 24年8月期 1,514百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年8月期	—	0.00	—	2,250.00	2,250.00
25年8月期	—	—	—	—	—
25年8月期(予想)	—	0.00	—	2,250.00	2,250.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年8月期の連結業績予想(平成24年9月1日～平成25年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,189	△9.9	310	9.2	310	9.1	177	16.6	3,487.75
通期	2,400	△9.1	640	0.7	640	0.6	368	6.1	7,251.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年8月期1Q	56,500 株	24年8月期	56,500 株
② 期末自己株式数	25年8月期1Q	5,534 株	24年8月期	5,534 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年8月期1Q	50,966 株	24年8月期1Q	50,506 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビューは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となっている条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、緩やかながら景気回復の兆しが見られたものの、欧州や中国等の対外経済環境を巡る不確実性が引き続き高く、輸出、生産、設備投資、個人消費ともに弱含みの状況で推移しました。

このような経済状況の中、当社グループの主力事業であるコンテンツ事業においては、コンテンツの質の向上、スマートフォン対応の強化、「LINE」等への配信網の拡大に努めてまいりました。結果として売上高612百万円（前年同期比4.8%増）、営業利益は276百万円（前年同期比20.8%増）と増収増益となりました。一方、業績不振であった携帯電話販売事業は、平成24年10月30日の事業譲渡に伴い撤退いたしましたため、連結での携帯販売事業の売上高は前年同期比において48百万円の減収となりました。

以上の結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高617百万円（前年同期比3.2%減）、営業利益168百万円（前年同期比38.7%増）、経常利益168百万円（前年同期比38.0%増）、四半期純利益105百万円（前年同期比76.1%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### ① コンテンツ事業

コンテンツ事業におきましては、モバイル向け及びPC向けに占いコンテンツ等を制作・配信するビジネスを中心に展開しております。

モバイル向けコンテンツにつきましては、モバイル市場全体のフィーチャーフォンからスマートフォンへのシフトが加速する中、コンテンツ業界でも大きな課題となっております「スマートフォンへの移行」をスムーズに行えるよう創意工夫をしております。フィーチャーフォン向けには、各移動体通信事業者の公式サイトへ月2本の新規コンテンツの投入を継続しました。また、スマートフォン向けには、アップストアへの継続的な有料コンテンツの配信、加えて新しいポータルサイトとなりつつある「LINE」への占い配信等を行うことにより、フィーチャーフォン向けコンテンツの売上高減少分を十分上回るだけの売上高を計上することになりました。当第1四半期でのスマートフォン向けのコンテンツの売上高は97百万円を計上しており、前事業年度で計上した年間売上高89百万円を既に超えております。

PC向けコンテンツにつきましては、市場全体が縮小傾向にある中、継続的に良質な新規コンテンツを毎月1本投入して、さらに、効果的なプロモーションを行うことにより、売上、利益とも維持に努めてまいりました。また、海外展開として、既に中国の「開心網」、「QQ.com」、「百度」、「SOHU.com」に配信をスタートさせており、韓国向けにも韓国最大級の占いサイト「フォーチュンエイド」へ占いコンテンツの提供をしております。

上記のほか、当社グループでは、コンテンツ事業としてシステム受託業務、ソーシャルメディア向けアプリケーション配信及び自社サイトの運営等を行っております。

以上の結果、コンテンツ事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は612百万円（前年同期比4.8%増）、営業利益は276百万円（前年同期比20.8%増）となりました。

#### ② 美容関連事業

美容関連事業におきましては、楽天市場等のインターネットサイトで化粧品の販売を行っておりますが、その売上高は少額であります。また、一方では新たな事業展開を模索してまいりました。

以上の結果、美容関連事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は0百万円（前年同期売上高0百万円）、営業損失は0百万円（前年同期営業損失0百万円）となりました。

#### ③ その他

業績が不振であった携帯電話販売事業は、平成24年10月30日において事業譲渡により完全に撤退しておりますため、当第1四半期連結累計期間より「その他」のセグメントに含め記載をしております。（参考 前年同期売上高52百万円、前年同期営業損失19百万円）

また、その他のセグメントには風水グッズ等の販売を含んでおります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は4百万円、営業損失9百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は2,677百万円であり、前連結会計年度末と比較して127百万円減少しております。これは主に現金及び預金が125百万円減少したことによるものであります。負債合計は1,151百万円で前連結会計年度と比較して120百万円減少しております。この主な要因は一年内返済予定の長期借入金が26百万円、未払法人税等が111百万円、長期借入金が91百万円減少し、仮受金が81百万円増加したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して8百万円減少しております。これは主に利益剰余金が8百万円減少

したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年8月期の連結業績予想につきましては、本資料の公表時点において平成24年10月12日の決算短信で公表しました業績予想に変更はございません。なお、今後修正が必要な場合は、速やかに修正を行い、公表させていただきます。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(有形固定資産の減価償却の方法)

法人税法の改正(平成23年12月2日公布の「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」(平成23年法律第114号)、「法人税法施行令の一部を改正する政令」(平成23年政令第379号)及び「法人税法施行規則の一部を改正する省令」(平成23年財務省令第86号)並びに平成24年1月25日公布の「減価償却資産の耐用年数等に関する省令の一部を改正する省令」(平成24年財務省令第10号))に伴い、平成24年9月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法(200%定率法)に変更しております。

この変更による損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,382,775	1,257,490
売掛金	577,375	550,551
商品	11,389	4,018
仕掛品	20,333	18,825
貯蔵品	1,967	1,968
その他	159,256	220,754
貸倒引当金	△13,632	△10,493
流動資産合計	2,139,464	2,043,115
固定資産		
有形固定資産	270,699	261,010
無形固定資産		
のれん	9,140	4,303
その他	30,211	27,743
無形固定資産合計	39,351	32,046
投資その他の資産		
営業保証金	130,041	130,041
敷金及び保証金	120,407	108,380
その他	105,900	103,304
貸倒引当金	△473	△473
投資その他の資産合計	355,875	341,252
固定資産合計	665,926	634,309
資産合計	2,805,391	2,677,425
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	37,681	34,277
1年内返済予定の長期借入金	394,580	367,672
未払費用	137,682	146,674
未払法人税等	153,070	42,049
その他	42,206	145,757
流動負債合計	765,221	736,430
固定負債		
長期借入金	507,124	415,206
固定負債合計	507,124	415,206
負債合計	1,272,345	1,151,636

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	451,459	451,459
資本剰余金	348,454	348,454
利益剰余金	909,238	900,537
自己株式	△194,444	△194,444
株主資本合計	1,514,708	1,506,007
新株予約権	18,337	19,780
純資産合計	1,533,046	1,525,788
負債純資産合計	2,805,391	2,677,425

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年9月1日 至 平成23年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年9月1日 至 平成24年11月30日)
売上高	637,307	617,027
売上原価	194,640	203,473
売上総利益	442,666	413,554
販売費及び一般管理費	321,273	245,195
営業利益	121,392	168,358
営業外収益		
受取賃貸料	395	1,065
その他	1,848	389
営業外収益合計	2,243	1,454
営業外費用		
支払利息	1,511	1,543
その他	283	145
営業外費用合計	1,795	1,688
経常利益	121,840	168,124
特別利益		
新株予約権戻入益	1,700	162
特別利益合計	1,700	162
特別損失		
事業撤退損	—	11,515
特別損失合計	—	11,515
税金等調整前四半期純利益	123,540	156,770
法人税、住民税及び事業税	55,945	40,965
法人税等調整額	7,410	9,832
法人税等合計	63,355	50,798
少数株主損益調整前四半期純利益	60,184	105,972
四半期純利益	60,184	105,972



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成23年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成24年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	60,184	105,972
四半期包括利益	60,184	105,972
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	60,184	105,972
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年9月1日至平成23年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	コンテンツ事 業	美容関連 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	584,122	154	584,276	53,030	637,307	—	637,307
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	2,479	2,479	△2,479	—
計	584,122	154	584,276	55,510	639,786	△2,479	637,307
セグメント利益又は セグメント損失(△)	229,046	△514	228,532	△19,424	209,108	△87,715	121,392

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、携帯電話並びに付属品の販売、風水グッズ等の販売を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△87,715千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△87,735千円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年9月1日至平成24年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	コンテンツ事 業	美容関連 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	612,436	135	612,571	4,455	617,027	—	617,027
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	1,274	1,274	△1,274	—
計	612,436	135	612,571	5,730	618,302	△1,274	617,027
セグメント利益又は セグメント損失(△)	276,653	△231	276,421	△9,886	266,535	△98,176	168,358

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、風水グッズ等の販売を含んでおります。
2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△98,176千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△98,926千円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
2. 報告セグメントの変更等に関する事項
- 当第1四半期連結会計期間より、携帯電話販売事業の撤退に伴い、報告セグメントを従来の「コンテンツ事業」、「携帯電話販売事業」及び「美容関連事業」の3区分から、「コンテンツ事業」及び「携帯電話販売事業」の2区分に変更しております。
- なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。
3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
- 該当事項はありません。